

平成18年度の血漿分画製剤の需給状況(4月～12月実績)

製剤名	換算規格・単位	製造・輸入量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		17年度	18年度 (上半期)
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	2,778,500 (82.9%)	1,615,600 (86.6%)	2,614,600 (80.3%)	53.7%	55.4%
		3,353,100	1,866,500	3,255,500		
乾燥人フィブリノゲン	1g	2,100 (67.7%)	2,100 (67.7%)	2,200 (88.0%)	100.0%	100.0%
		3,100	3,100	2,500		
組織接着剤	接着面積(cm2)	7,715,000 (80.5%)	4,206,400 (99.0%)	8,129,000 (87.3%)	45.3%	48.9%
		9,581,500	4,250,000	9,308,100		
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	195,500 (57.6%)	82,900 (63.9%)	242,000 (73.6%)	39.3%	35.4%
		339,700	129,700	328,900		
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	26,900 (71.7%)	26,900 (71.7%)	30,000 (82.4%)	100.0%	100.0%
		37,500	37,500	36,400		
インヒビター製剤	延べ人数(人)	10,200 (82.9%)	0	11,100 (111.0%)	0.0%	0.0%
		12,300	0	10,000		
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第Ⅷ因子	(瓶)	93,200 (58.1%)	0	104,300 (76.0%)	0.0%	0.0%
		160,400	0	137,300		
トロンビン(人由来)	10000単位(瓶)	10,300 (34.8%)	10,300 (34.8%)	34,700 (116.4%)	100.0%	100.0%
		29,600	29,600	29,800		
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	1,088,100 (73.0%)	999,000 (73.5%)	1,140,500 (86.7%)	88.6%	91.1%
		1,490,800	1,359,900	1,315,400		
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	18,100 (83.0%)	600 (100.0%)	15,700 (66.2%)	2.6%	2.1%
		21,800	600	23,700		
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	8,700 (124.3%)	0	7,200 (80.0%)	0.0%	0.0%
		7,000	0	9,000		
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	57,800 (50.8%)	0	61,700 (82.0%)	0.0%	0.0%
		113,800	0	75,200		
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位(瓶)	329,600 (96.8%)	317,900 (96.7%)	324,800 (83.8%)	94.9%	96.4%
		340,600	328,600	387,800		
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	640 (213.3%)	640 (213.3%)	200 (66.7%)	100.0%	100.0%
		300	300	300		
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	21,700 (52.7%)	21,700 (52.7%)	33,100 (75.4%)	46.7%	100.0%
		41,200	41,200	43,900		
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	340	0	430 (68.3%)	0.0%	0.0%
		0	0	630		

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。